授業科目名・形態	病態治療学Ⅱ（外科）　　演習	必修・選択の別	必修	単位数	2
担当者氏名	久保　寛仁	実務経験の有無	有	開講期	2年前期
科目ナンバリング	N3-2009npmht				

【授業の主題】

消化器および甲状腺、乳腺の疾患についてその診断と治療を概説する。

【到達目標】

1. 消化器病の病態・診断・治療を説明できる。
2. 乳腺・甲状腺疾患の病態・診断・治療を説明できる。
3. 手術法を理解し手術後の消化管の状態が説明できる。
4. 病態の頻度・重症度を理解した上で疾患の重要性を考える。

【授業計画・内容】

第 1 回　食道
第 2 回　胃・十二指腸
第 3 回　小腸・大腸（良性疾患）
第 4 回　大腸（悪性疾患）・ヘルニア
第 5 回　肝臓
第 6 回　胆道・膵臓
第 7 回　甲状腺・乳腺
第 8 回　補講

【授業実施方法】

講義形式で画像、ビデオなどを使用

【事前・事後学習】

・講義内容に関する事前学習を毎回 30 分以上行うこと。
・講義内容を踏まえ、復習を毎回 30 分以上行うこと。

【授業準備】

関連分野の解剖生理を復習しておく。
臓器の役割を理解しておく。

【主な関連する科目】

成人看護方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、老年看護方法論Ⅰ・Ⅱ

【教 科 書 等】

指定しない。

【参 考 文 献】

適宜、紹介する。

【成績評価方法】

定期試験による評価（定期試験 100%）

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

外科の臨床医として勤務。この経験を活かして実践的な授業にしたい。

【学生へのメッセージ】

疾患の要点を的確に把握することに留意する。
特に病態を理解し応用できるようにしておくこと。